

=====
** 日本学術会議ニュース・メール ** No.508** 2015/8/28
=====

■-----
日本学術会議、国際交流基金、ベルリン日独センター3者主催
日独シンポジウムダイバーシティが創る卓越性
～学術界における女性・若手研究者の進出～の開催について(再案内)
-----■

男女・年齢を問わず、優れた人材が活躍する機会を豊富に得られることが、その国の未来を切り開き団体・企業の業績も向上させる、誰もがそう思っているはずです。本シンポジウムでは、日独若手研究者、研究者・有識者による討論を通して、女性あるいは若手の研究者の力をどのように生かせるか、そのために日独の両国は女性及び若手の研究者が活躍できる環境をいかに整えるべきか?といった問題について考えます。研究者を育む土壌としての大学の今後の経営を考える上で、性別にとどまらず、国籍、年齢、障害の有無を越えた多様性(ダイバーシティ)を実現することは、国際競争力と発信力を高め、今後の知的交流を進める上で、最も重要なテーマになるでしょう。

◆日時：2015年9月4日(金) 13:00～18:00 (12:30 受付開始)

◆会場：日本学術会議講堂(地下鉄千代田線乃木坂駅5番出口)

<地図> <http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>

◆使用言語：日本語・ドイツ語(同時通訳あり)

◆プログラム

13:00-13:20 主催者挨拶

13:20-13:50 日独双方からの報告

13:50-14:55 セッション1：若手研究者はこう考える

15:10-16:45 セッション2：大学経営におけるダイバーシティ

16:45-18:00 全体討論会 女性・若者の活躍を進める

<パネリスト>

大沢真理 (東京大学社会科学研究所所長、教授)

廣渡清吾 (専修大学教授、東京大学名誉教授)

江原由美子 (首都大学東京教授、首都大学東京ダイバーシティ推進室前室長)

有本建男 (政策研究大学大学院教授、元文部科学省科学技術・学術政策局長)
狩野光伸 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授)
ゲジーネ・フォリヤンティ・ヨースト (マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッ
テンベルグ校教授)
エリカ・コーテ (フリードリヒ・シラー大学イエーナ校教授)
サンドラ・ボウファス (ライプニッツ社会科学研究所)
エヴァ・リヒヴァイン (ドイツ研究振興協会)
ウルリケ・エンデスフェルダー (マックスプランク研究所)

◆定員 300 名 (※入場無料・先着順・事前申し込み要)

◆お申し込み方法：

9月3日(木)(※延長しました)までに、参加される方のお名前(ふりがな)・ご
所属・ご連絡先(電話番号或いはメールアドレス)を、下記メールアドレスへお送り
下さい。

oca@jpf.go.jp

・お申し込みへの返信はいたしませんのでご了承下さい。
定員に達した場合のみ、ご連絡いたします。

◆お問い合わせ先：

独立行政法人 国際交流基金 日本研究・知的交流部
欧州・中東・アフリカチーム

TEL : 03-5369-6071 FAX : 03-5369-6041

◆詳細については、下記 URL をご覧下さい。

<http://www.jpf.go.jp/j/project/intel/exchange/organize/2015/08-01.html>

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。
アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

http://twitter.com/scj_info

☆-----★

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

=====

日本学術会議ニューズメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34